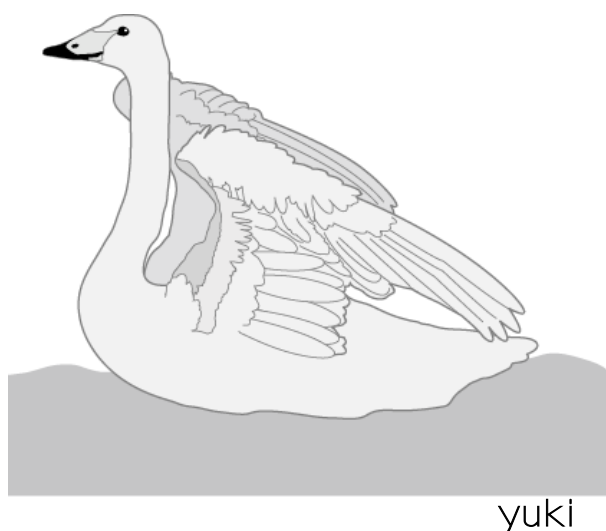


ネイチャーセンターだより



オオハクチョウ

Whooper Swan



オオハクチョウは、根室市の鳥に指定されている他、根室にある道の駅の名前は「スワン44」（白鳥台）と、この根室を代表する鳥のひとつとなっています。

10月になると、シベリアからオオハクチョウが渡ってきます。11月中旬に数が一番多くなりますが、風蓮湖が氷に閉ざされる前に、もっと南へと渡っていってしまうので、春と秋の渡りの時期にしか見られません。

渡りの時になぜ風蓮湖に立ち寄るのかというと、ここには餌が豊富にあるためです。オオハクチョウたちは水面で逆立ちをして、長い首を水中に伸ばして、たくさん生えているアマモという水草を食べています。渡りで疲れた羽を休めて、また次の旅へと出発していきます。(Y)

10月のイベント

ネイチャーセンターまつり

日時 10月16日(日)
10:00~16:00



対象：どなたでも
定員・申込：必要なし
費用：ネイチャークラフトのみ材料費 100円必要
概要：ネイチャーセンターで一日中楽しもう！ボランティアグループ「スルク」が楽しいプログラムを用意して皆さんのご来館をお待ちしております！

詳細：10:00～ ネイチャーゲーム
11:00～ ネイチャークラフト教室
12:30～ 紙芝居上演
13:00～ ネイチャーゲーム
14:00～ ネイチャークラフト教室
15:00～ ネイチャーペイント

ネイチャークラフトは、「クラフト教室」の時間以外も自由にできます。

エコツアーフィールドセミナー

日時 10月31日(月)
9:30~16:30

対象 根室市内観光業者
定員：20名まで
申込：3日前まで

概要 春国岱・風蓮湖は見る人を魅了する豊かな自然に包まれた場所。この場所を大切にしながら、活用するための観光業者向けのセミナーです。春国岱・風蓮湖の見所・利用法をレンジャーがお伝えします。

＜お申込み・お問合せ先：ネイチャーセンター＞

TEL 0153-25-3047

ラムサール条約 じょうやく を知ろう! (第4回)

Q4 . ラムサール条約は、水鳥の生息地である湿地を保護する条約だけど
いったい「水鳥」ってどんな鳥?

A4 . 先月号の正解は、せんげつごう 番でした。せいかい ばん

ラムサール条約の条文では「水鳥」とは、
『生態学上湿地に依存している鳥類をいう』とされています。

すなわち、湿地で、エサをとったり、休んだり、子育てをしたりする
水辺で生活する鳥のことすべてをいいます。



タンチョウ
春から秋に見られ、
子育てをしている。



オオハクチョウ
11月に5,000羽くらい
見られる。そのほか、
ガンやカモの仲間も多数やってくる。



カモメの仲間
海辺で魚や貝を食べて
いる。



シマフクロウ
風蓮湖に流れ込む河川で魚
をとっている。

風蓮湖の水鳥たち



サギの仲間
水際にじっとエサをねら
っている姿が見られる。夏
ごろから数が増える。



シギ・チドリの仲間
オーストラリア、東南アジアとシ
ベリア、アラスカを渡る途中、休
息や栄養補給に立ち寄る。春と秋
に見られる。



オオワシ・オジロワシ
冬、凍った湖面で魚のおぼれの
魚とったりしている。オジロワシ
は湖周辺で子育てをしている。

水鳥の多くは、「渡り鳥」です。



Q5 . 水鳥の中で世界を行き来する「渡り鳥」はどの仲間?

シギ・チドリの仲間
ハクチョウやガン、カモの仲間
タンチョウやサギの仲間

正解と解説は、次回このコーナーでお伝えします。

自然情報

～ 10月にこんな見られます～



10月は風蓮湖にカモが渡来し、春国岱のアッケシソウ(サンゴソウ)が真っ赤に色づきます。春国岱・自然学習林へ、いろいろな種類の鳥や動物を探しにでかけよう!

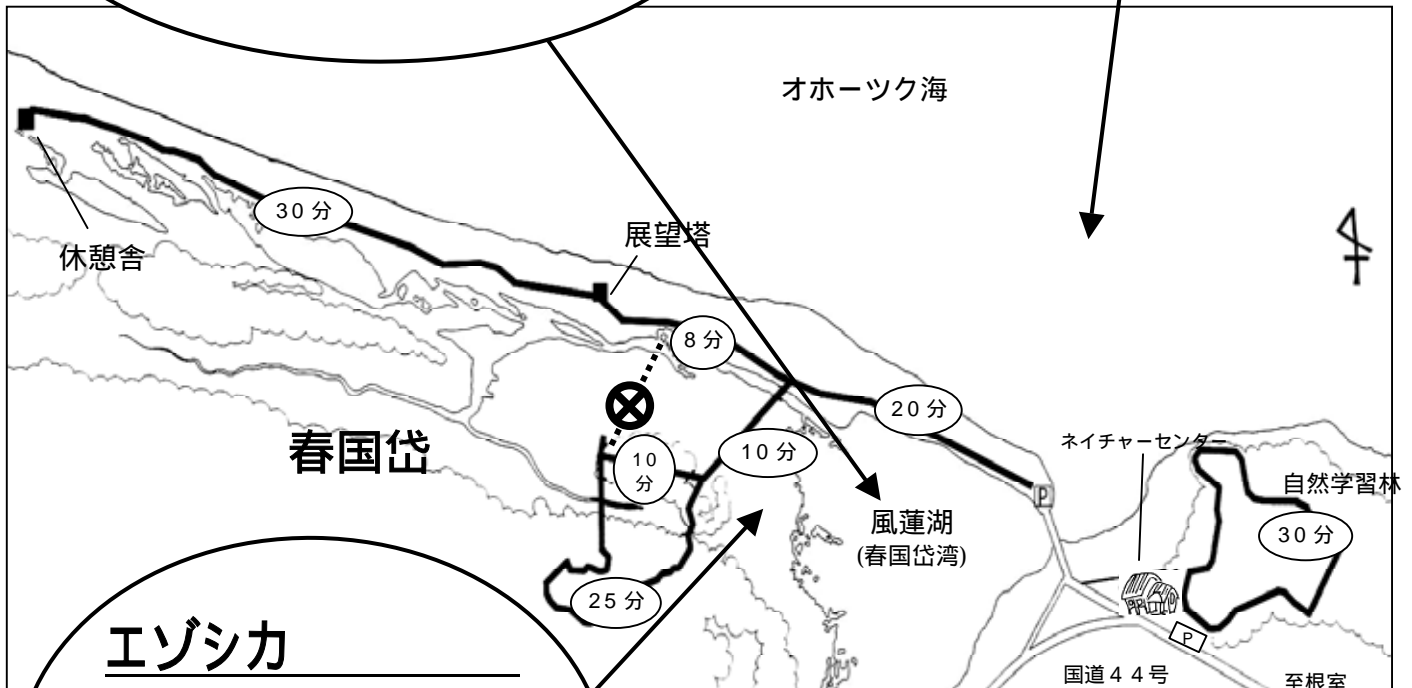
水鳥たち

10月中旬には、カモの数がピークとなり、風蓮湖全体では2～3万羽にもなります。また、オオハクチョウの第一陣が到着し、11月中旬に数がピークとなるまでどんどん増えていきます。



海鳥たち

冬鳥の海ガモ達がやってきます。頭がボサボサしているウミアイサ、尾が長いコオリガモ、ほっぺが白いホオジロガモなど。ネイチャーセンターの望遠鏡でも探して見てください。



エゾシカ

散策路の近くでエゾシカが草を食べている姿をよく見かけます。初夏には小さかった小鹿もどんどん大きくなっています。立派な角の生えた雄鹿にも出会えるかもしれません。



結実

オニグルミやミズナラのどんぐりが落下します。運が良ければ、地上で木の実を探し、木の上でカリカリ食べる、エゾリスの姿が見られるかも……。自然学習林が観察しやすいです。

お知らせ

9月25日に春国岱の観察路でヒグマが目撃されました。その後確認されておりませんが、クマとの遭遇を避けるため、観察路を歩く際は鈴や携帯ラジオを身につけたり、複数人で歩くなどの対策を心がけてください。

ぬかるむ所があります。長靴など汚れても良い靴で、足元に気をつけて歩いてください。まだ蚊が出ています。虫除け対策(スプレー・長袖など)も忘れずにしてください。





春国岱

9月中旬、ボランティアグループ「スルク」の臨時ミーティングが開かれた。議題は、10月16日に開かれる彼らの主催イベント「ネイチャーセンターまつり」についてだ。

多くのお客様を呼ぶために、メンバーが作ったポスターに手が加えられ、メンバーの手により市内各所にポスターの掲示をお願いすることが決まった。そして、当日のネイチャークラフトや、ネイチャーゲーム、ネイチャーペイントなるプログラムを準備するための次回ミーティング日程や担当などが決まった。彼らの顔や体には、やる気が満ちているようだった。

1ヶ月以上も前から準備を始めたこのイベント、少しでも多くの人達が来てくれることを願わずにはられない。(K)

ボランティアグループ「スルク」のご案内

「スルク」はネイチャーセンターの活動を支援、発展させるボランティアグループ。老若男女、様々な方々が活動しています。現在、以下のプロジェクトが進行中です！ご興味ある方は、ネイチャーセンターまで、ご連絡ください！！

「スルク」のプロジェクト

- | | |
|------------------|-------------------|
| 樹名板・オブジェ補修プロジェクト | 紙芝居プロジェクト |
| エゾシカ食害調査プロジェクト | 広報プロジェクト |
| 春国岱ガイドウォークプロジェクト | ネイチャーセンター祭りプロジェクト |
- など

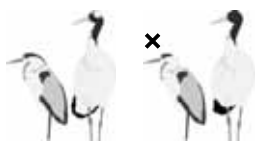


メール配信のお願い

郵送料削減と省資源を目指し、ネイチャーセンターだよりをメール(PDF形式)で配信しています。ご協力下さる方は下記メールアドレスまで、ご自身のアドレスをお知らせ下さい。ご協力お願い致します。(郵送ご希望の方には今後もそのまま郵送いたします。)

連絡先: nemu_nc@marimo.or.jp

まちがいさがし 解答



先月のまちがいは、
タンチョウの頭が黒い
タンチョウの尾が黒い
アオサギの頭の長い羽
でした。

タンチョウもアオサギも春国岱で今見られているので、実物も探して見てみてください。

団体向けプログラムのご案内



- 野外解説 (1~2時間 / 10~20名)
- 自然のお話 (25分 / 10~45名)
- 自然のクイズラリー (1時間 / 10~50名)
- タンチョウのヒミツに迫るタンチョウゲーム (0.5~2時間 / 10~20名)

申込みが必要です。詳細はネイチャーセンターまでお問い合わせください。などの野外ガイドは、学校団体・市民団体等に限定させていただきます。

春国岱原生野鳥公園ネイチャーセンター

〒086-0074 北海道根室市東梅 103 番地

TEL0153-25-3047 FAX0153-25-8570

HP http://www.marimo.or.jp/~nemu_nc/workn/index.html

メール nemu_nc@marimo.or.jp

開館時間 10月 9:00~16:30

10月の休館日 5・11・12・19・26日

2005.10 発行